



第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・小学校6年生の部

審査員講評

はった す み え
八田寿美恵先生 (当番審査員)



本選会ご出場、おめでとうございます。猛暑の中、日々より良い表現を追求し、素晴らしい演奏を聴かせてくださった皆様に、心からの拍手を送ります。ご指導くださった先生方、支えてくださったご家族にも、深く感謝と敬意を表します。

今年の小学校6年生の演奏は大変レベルが高く、バランスの取れた表情豊かなステージが続き、審査員一同感銘を受けました。全員に賞を差し上げたいと思うほどでした。惜しくも入賞に届かなかった方も、曲を深く掘り下げ、完成度の高い演奏を披露できたことは、大きな財産となるでしょう。

今後のヒントとして少しお伝えします。皆さんは技術力・構成力・表現力のバランスが優れており、心を打つ演奏が多くありました。ただ、表現意欲が強いあまり、テヌートやアクセントをやや強調しすぎる場面も見られました。音楽の流れを保ちながら、自然な音色と表現を意識すると、さらに魅力的な仕上がりになります。また、フレージングもよく工夫されていましたが、呼吸をより自然に取り入れることで、各フレーズの深みと変化が増し、聴き手に一層の感動を届けられるでしょう。

来年は中学生となり、勉強や部活動で忙しくなる方も多いと思います。それでも、小学6年生でこれほど成熟した演奏ができた皆さんの中学生としての音楽を、ぜひまた聴かせていただきたいと願っています。忙しい時ほど、心にゆとりがない時ほど、ピアノは皆さん一人ひとりに寄り添ってくれます。どうか長く続けてください。次に聴かせていただく日を楽しみにしています。